

ぐんまインクルーシブフェスタ

2025 ～みんなで知ろう みんなで創ろう～

来場者数
約5,000人

令和7年12月17日
特別支援教育課企画係 担当:狩野
電話:027-226-4653 内線:4652

12月5日(金) 1階 県民ホール

12月6日(土) 2階 ビジターセンター

10:00～17:00	ハートフルアート展 (特別支援学校児童生徒作品展) ※ ハートフルアート展は9日(火)まで開催。	文化連盟 各特別支援学校
10:30～14:00	特別支援学校作業製品販売会 作業製品づくり体験 (鹿革キーホルダー)	各特別支援学校 沼田特別支援学校
----- セレモニー・発表等 -----		
10:00～10:20	ハートフルアート展 開会式 (司会、挨拶、開会宣言)	教育長、文化連盟 特別支援学校代表生徒
10:30～10:40	オープニングトーク	アンカンミンカン
10:40～11:40	ブランドロゴマークの愛称発表 (学校間連携、各校作業製品等の紹介)	特別支援教育課、各校、 アンカンミンカン
12:30～12:40	ステージ発表進行	アンカンミンカン
12:40～13:00	器楽部・吹奏楽部コラボ	前橋高等特別支援学校 前橋工業高等学校
13:10～13:30	器楽・ダンス・吹奏楽部コラボ	沼田特別支援学校 沼田高等学校
13:40～13:50	和太鼓部	渡良瀬特別支援学校
14:00～14:10	和太鼓部・和太鼓部コラボ	渡良瀬特別支援学校 桐生清桜高等学校
14:20～14:30	和太鼓部	清桜高等学校
14:40～14:50	ドラム・バンド演奏	赤城特別支援学校
14:50～15:00	クロージングトーク	アンカンミンカン

13:30～16:00	シンポジウム 「群馬県の目指す インクルーシブな学校」	ファシリテーター 霜田浩信氏
	視察報告 「スウェーデンマルメウの視察を とおして」 基調提案 「群馬県におけるインクルーシブな学校 ～北欧におけるインクルーシブ教育の 視点から～」	特別支援教育課 高知大学教職大学院 是永かな子氏
	意見交換 玉村町上陽小学校長 伊勢崎特別支援学校長 太田フレックス高等学校長 みらい共創中学校長 藤岡市立小野小学校長	シンポジスト 増田 真次氏 水谷 佳子氏 須田雄一郎氏 飯島 幸氏 五十嵐貴子氏



主催：群馬県教育委員会 特別支援教育課 共催：群馬県



主催：群馬県教育委員会 群馬県特別支援学校文化連盟

ぐんまインクルーシブフェスタ

2025 ～みんなで知ろう みんなで創ろう～

第31回ハートフルアート展



県内全27校に通う特別支援学校
小、中、高生1,548人
児童生徒の作品644点を展示

ロゴマーク愛称発表



特別支援学校作業製品のブランド化
統一ロゴマークの愛称発表
「ぐんぐんハート27」

みんなインクルーシブフエスタ

2025 ～みんなで知ろう みんなで創ろう～

作業製品販売会



特別支援学校のおすすめ製品
一同に並ぶ販売会

作業製品づくり体験



鹿革キーホルダーづくり体験
生徒は来場者と触れ合い工程を説明

ぐんまインクルーシブフェスタ

2025 ～みんなで知ろう みんなで創ろう～

高等部生と高校生のステージ発表



和太鼓部 & 和太鼓部コラボ

渡良瀬特別支援学校 & 桐生清桜高校
息の合ったコラボ発表
会場に心のこもった音が響く



ドラム・バンド演奏

赤城特別支援学校
生徒と教員のバンド演奏
「音楽でみんなに笑顔を届けよう」

ぐんまインクルーシブフオスタ

2025 ～みんなで知ろう みんなで創ろう～

シンポジウム

テーマ「群馬県の目指すインクルーシブな学校」

- 視察報告(特別支援教育課)
「スウェーデンマルメ市の視察をとおして」
- 基調提案(高知教職大学院 是永かな子 氏)
「群馬県におけるインクルーシブな学校～北欧における
インクルーシブ教育の視点から～」
- 各シンポジストの取組発表
玉村町立上陽小学校長 増田眞次 氏、伊勢崎特別支援学校長 水谷佳子 氏
太田フレックス高等学校長 須田雄一郎 氏、みらい共創中学校長 飯嶋 幸 氏、藤岡市立小野小学校長 五十嵐貴子 氏
- 意見交換



多様な背景のある全ての子供たちが共に学び合える社会の実現を目指し、学校に焦点をあてた仕組みや機能、今後の在り方等についてシンポジウムを行った。
不登校、日本語指導、異年齢集団、モデル校での授業研究等、それぞれの立場からインクルーシブの中で学ぶことは何なのか、共通性等について意見交換を行った。